

受賞技術	鋼製支保工建込みロボット
技術開発者	前田建設工業株式会社 水谷 和彦
	
受賞にあたって	
<p>この度は、第22回国土技術開発賞 優秀賞を賜り、誠に光栄に存じます。本技術の開発にあたり、御指導・御協力いただきました関係者の皆様におきましては、心より御礼申し上げます。山岳トンネル工法は、硬軟様々な地質に対して臨機応変に対応できる反面、機械による施工と併せて人力による施工に頼っている部分が多く、その人力作業で被災する重篤災害が後を絶ちません。また、近年の少子高齢化により、山岳トンネルにおいても熟練技術者の不足は年々深刻な問題となっています。</p> <p>その様な背景から我々は、山岳トンネルの安全性と生産性の向上を目的に、自動施工技術の開発に着手し、その初段として、最も被災事例が多い鋼製支保工建込作業の自動化技術を開発いたしました。</p> <p>山岳トンネルの自動施工は、各工種でのワンマンオペレータ化が重要な技術となります。それにより、限りなく労働災害が少なくなると共に、より少ない人数での施工が可能となり、将来は遠隔集中管理による激的な生産性向上が期待できます。本技術開発は、その第一歩であり、我々は、他工種も含めた自動化技術の開発を推進していく所存です。</p>	
受賞後の動き	
<p>本システムの完全自動技術構築を進めると共に、他工種も含めた自動化技術の開発を推進し、山岳トンネル工事全体の自動施工技術の完成を目指します。</p>	